

この公表は、「地方自治法」「東京都板橋区財政状況の公表に関する条例」に基づき、11月27日に区役所構内掲示場に掲示して行いました。

板橋区長 坂本 健

区の財政状況をお知らせします

問合 財政課☎3579-2030

区では、毎年6月・11月に、区の財政状況を区民のみなさんにお知らせしています。

令和2年第3回区議会定例会で「令和元年度(平成31年度)板橋区各会計歳入歳出決算」が認定されましたので、今日はその概要と、令和2年度上半期(4月~9月)の財政状況をお知らせします。

*金額は表示単位未満で端数処理しているため、収入率・執行率・構成比は、表示金額から算出した数値とは異なる場合があります。

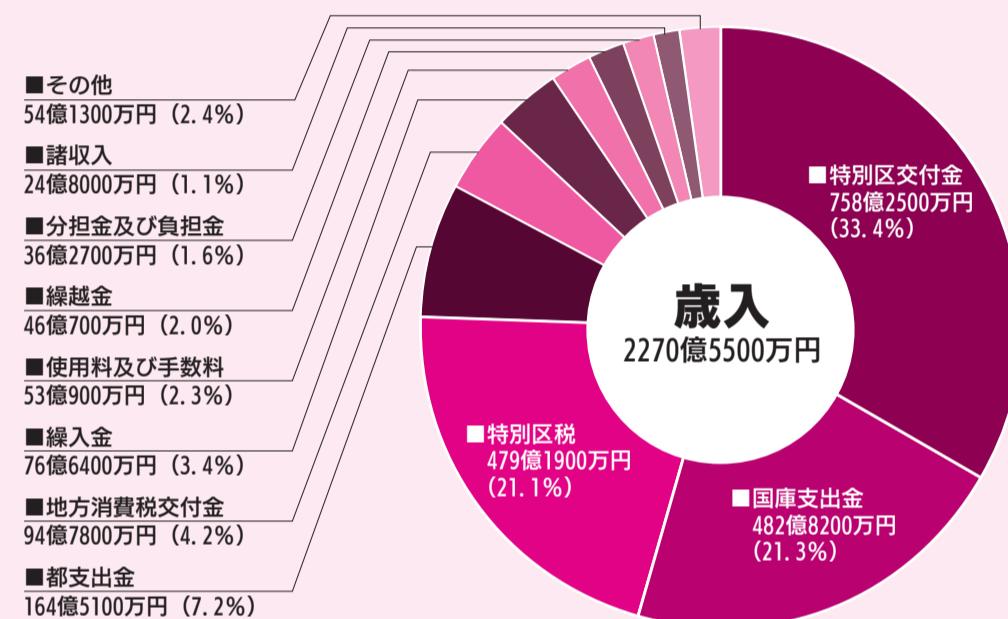
令和元年度(平成31年度)の決算(概要)

○一般会計

◆歳入

前年度に比べて113億円増加し、2271億円となりました。特別区交付金は法人住民税などの増収により63億円の増、区民のみなさんに納めていただいた特別区税は13億円の増となりました。

また、幼児教育・保育の無償化の開始などにより、国庫支出金・都支出金などがあわせて56億円の増となりました。



○令和元年度の主な事業

(単位：百万円)

総務費	衛生費		産業経済費		教育費	
総合行政情報システムの運営 東板橋体育馆などの改修 区立美術館の改修	予防接種 区民一般健康診査 がん検診	1457 497 470	プレミアム付商品券事業 消費喚起対策支援事業 産業融資利子補給	419 120 108	板橋区版放課後対策事業 「あいキッズ」 小・中学校増改築 教育ICT化推進	1980 1532 952
福祉費	資源環境費		土木費		社会保険事業 介護保険事業 後期高齢者医療事業 東武東上線連続立体化事業	
私立保育所保育運営 障がい者自立支援給付 民間保育所整備費助成	資源の収集・再資源化 資源循環協働推進 環境保全・公害対策	1299 135 35	自転車駐車対策 街灯の更新 公園の改修	979 875 603	573億5700万円 419億5500万円 121億4400万円 2000万円	563億6200万円 407億500万円 120億1600万円 2000万円

○特別会計

特別会計は、特定の事業を行うため、一般会計と区別して経理する会計です。4つの特別会計の決算は、右表のとおりです。

区分	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	573億5700万円	563億6200万円
介護保険事業	419億5500万円	407億500万円
後期高齢者医療事業	121億4400万円	120億1600万円
東武東上線連続立体化事業	2000万円	2000万円

令和元年度 あなたがお支払いになった1万円はこのように使われました

*区の財源には、あらかじめ使いみちの決められていない一般財源・使いみちの決められている特定財源があります。この金額は、一般財源を割り返したものです。

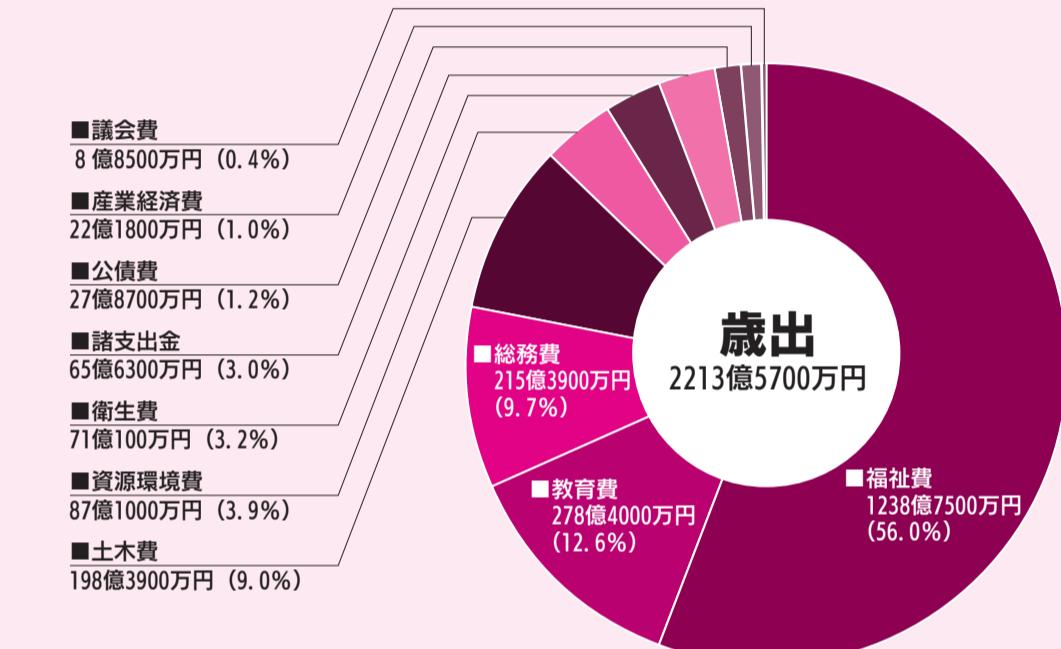
資源環境費	福祉費	教育費	総務費	土木費
553円 ごみの収集・運搬、リサイクルの推進などに	4278円 予防接種、健康診査、健康福祉センターの運営などに	1705円 学校・幼稚園などの教育関係に	1288円 まちの行事、防災、集会施設・区役所の管理などに	989円 道路・公園、緑化の推進、都市の整備などに

区の財政状況をお知らせします

問合 財政課☎3579-2030

◆歳出

前年度に比べて102億円増加し、2214億円となりました。福祉費は私立保育所の保育運営費・障がい者自立支援給付などの増により27億円の増、教育費は将来の小・中学校の改築・改修などに備える義務教育施設整備基金への積立の増などにより25億円の増、土木費は東武東上線連続立体化事業基金への積立などにより63億円の増となりました。

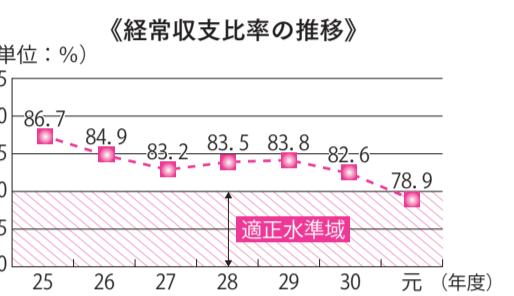


経常収支比率

財政構造の弾力性(ゆとり)を見るための指標が、経常収支比率です。この割合が低いほど、財政にゆとりがあり、様々な状況の変化に対応できることを示しています。適正水準は、おむね70~80%と言われています。

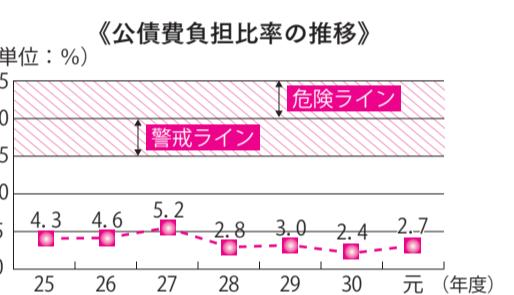
経常収支比率は、世界同時不況後の景気回復に伴い、平成25~27年度にかけて改善が続きました。28・29年度は保育所待機児童対策などの経費増により悪化しましたが、令和元年度は特別区交付金な

どの歳入増により78.9%となり、前年度に比べて3.7ポイント改善しています。



公債費負担比率

借入金の返済に、一般財源(自由に使える収入)がどの程度使われているかを見るための指標が、公債費負担比率です。一般的に、15%を超えると「警戒ライン」、20%を超えると「危険ライン」と言われています。令和元年度は、借入金返済額の増により、比率は2.7%で、前年度に比べて0.3ポイント増加しています。



財政の健全化に努めます

今後、ますます増加が見込まれる社会保障費・公共施設更新需要など、様々な課題に取り組む必要があります。そのためにも、経費を抑制し、特別区税などの収入の

確保を図っていきます。また、計画的に基金(貯金)を積み立て、急激な景気の悪化にも対処できる財政基盤の堅持に努めています。

国の税源偏在是正に 対する区の見解

国は、「地方創生の推進」「税源偏在是正」の名のもと、地方法人課税の一部国税化、地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税などの不合理な税制改正により、区の貴重な税源を一方的に奪っています。

ふるさと納税による今年度の特別区民税(東京23区)の減収額は約424億円で、ここ6年間で46倍に膨らんでおり、看過できない状況です。

また、現状では、東京23区は全国で最も多くの新型コロナウイルス感染者を抱えており、その対応に膨大な財政需要が生じているにも関わらず、国から示された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の交付限度額は、感染者数・人口規模などの実態とかい離しているため、区の負担は増え続けています。

区では、都・特別区長会と連携し、地方固有の財源を不当に収奪するような税制改正の方向性を改め、国の責任で地方税財源の拡充を図るよう、引き続き強く要望しています。

令和2年度上半期の執行状況

○予算額と執行状況

区分	予算現額	収入額	
		支出額	執行率
一般会計	2872億1500万円	1526億9700万円 1460億3500万円	53.2% 50.8%
国民健康保険事業	549億8800万円	202億1600万円 189億1100万円	36.8% 34.4%
介護保険事業	438億2000万円	221億2500万円 168億6300万円	50.5% 38.5%
後期高齢者医療事業	122億3100万円	59億3700万円 40億4200万円	48.5% 33.0%
東武東上線連続立体化事業	1億2200万円	1億1900万円 13万円	97.6% 0.1%

○区の借金

使途別	金額	構成比

<tbl_r cells="3"